

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第79号 / 2016年6月23日発行

編集 / 医学研究科長

『看護系大学教育の学生確保の見通し』

医学部看護学科長

看護学科 教授 三橋 睦子

看護職教育は明治時代より3年制の専門学校が主流の時代が続き、4年生の大学教育は1952年（昭和27）に始まりました。久留米大学医学部看護学科は、瀨瀬教三学長、山下文雄初代学科長をはじめとする多くの方のご尽力により、西日本地区の私立総合大学では最初の、全国で30番目（同時に9校が発足し30校となる）の4年制看護大学として平成6年に設立されました。前身は専門学校で、当時「まずは短期大学では」との声を押しつけての4年制大学の設立は、10年後を見据えた功績であったと感謝の念に絶えません。と言いますのも、その後看護系大学は平成16年119校、26年226校、28年現在250の教育課程と増え続けています。この傾向は大学院においても同じで、修士課程は平成6年の7大学院から27年156大学院へ、博士課程は3大学院から76大学院になりました。背景には、**日本の少子超高齢化社会の到来、医療技術の進歩、人々の健康に対するニーズの高まり、医療提供の在宅への移行等により、質の高い看護実践、環境の変化に対応できる教育・研究者の育成という緊急の課題があります。**とは言え「学生の確保の見通し」において、本学科にとっての真の危機は、福岡県に12の看護系大学が設立していることにあるのかもしれない。

れません。

一方、平成26年、全国で医学部のある看護系大学で、修士課程の専攻が医科学専攻となっているのは、全国で唯一本学のみでした。必然的に学生確保に向けてのChangeを意識する中、学生達の訴えが“学生確保の見通し”への道標でした。

『専門看護師教育課程を修了しているのに、なぜ「看護学修士」がもらえないのか。』— 実は、「医科学修士」が授与されました。対応として、平成27年度より「**看護学修士**」に変更されました。

『久留米大学修士課程の看護系教育課程は、カリキュラムブックを見てもよく分からない』— 大学院の組織図と各教育課程の科目との関連性は読み取りにくかったようです。対応として、**看護学専攻として体系化**し、大学院組織図およびカリキュラムブックに掲載されました。（大学院カリキュラムブック p5 参照）

『修士課程に進学したいけど、専門看護を学びたいのではなく、研究や看護の学びを深めたい』— 専門看護師教育課程と臨床看護学群の本質的違いをカリキュラムブックで読み取るのは難しかったようです。対応として、看護学専攻に**修士論文コースと専門職業養成コース**を配し、修士論文コースには新たに**看護教育管理分野**が設置

『九州には看護系の博士課程が少なく諦

めるしかない。』— 博士課程を置く看護系大学は、九州では9校で、琉球大学、鹿児島大学、熊本大学、宮崎県立大学、大分県立大学、九州大学と各地に分散しています。福岡県には、九州大学1校のみでした。対応として、本学科には博士号を有する教員が確保されていましたので、**博士課程の社会医学系専攻に看護学が設置**されました。

『助産師教育課程を開校してほしい。』— 本学では助産師教育課程は設置されておらず、助産師を希望する多くの学生・看護職員は他大学への進学を余儀なくしていました。平成26年5月に日本看護協会より文部科学省へ、大学院における助産師教育の推進についての要請書が提出されたこともあり、**定員充足の根拠とするため大学病院看護師全数調査**を行い、助産学分野に**助産師国家試験受験資格取得コース**

(定員8名)と上級実践者コース(定員2名)が設置されました。

平成27年度医科学専攻の看護系入学者(修士)は10名で、平成28年度入学志願者数は修士課程25名、博士課程(看護学)4名と格段に増加しました。平成29年度に何人の学生が確保できるのか、今年が正念場です。**学生が何になりたいのか、どうしたいのか、夢が語れる教育がここにある**という大学を目指すことが、実は学生確保の近道のように思えます。

最後になりますが、これら一連の取り組みは、内村直尚医学部長はじめ医学部教職員の皆様の暖かいご理解とご支援、および学科教職員の協力により成し得たものであり、衷心より感謝申し上げます。

事務通信

◆博士課程の皆様へ◆

平成28年度 博士課程共通科目レポート提出期限について

博士課程共通科目を履修された方、前期レポートの提出期限が迫っています。提出先・レポート課題をご確認のうえ、所定の期日までにご提出ください。



科目名：**遺伝子多型 (SNPs)**

科目責任者：神田芳郎 (法医学・人類遺伝学)

締切日：6月30日(木) 17時

提出先：医学部事務部教務課窓口

科目名：**ゲノム創薬の進歩**

科目責任者：児島将康 (分子生命科学研究所)

締切日：7月29日(金) 17時

提出先：医学部事務部教務課窓口

科目名：**実験動物学**

科目責任者：御船弘治 (動物実験室)

締切日：9月9日(金)

提出先：動物実験センター受付

科目名：**ゲノムドラフトの解明**

科目責任者：石原直忠 (分子生命科学研究所)

締切日：9月23日(金) 17時

提出先：医学部事務部教務課窓口

科目名：**免疫関連分子とT細胞抗原
レセプター多様性の解明**

科目責任者：山田亮 (先端癌治療研究センター)

締切日：第1回講義時に指示

提出先：第1回講義時に指示

修士課程・博士課程第2学年以上の大学院生の皆様へ「現住所調査票」を配布しております。

7月29日（金）までに医学部事務部教務課へご提出ください。

ご協力よろしくお願ひします。

※以後現住所の変更がある場合は「学生現住所変更届」の提出が必要です（大学院HPよりダウンロード可）。

◆健康診断未受診者の方へ◆

医学部B棟1階保健室にて実施しておりました健康診断はお済みでしょうか？
やむを得ない理由で受診できなかった場合は、これに代わる証明書をかならず保健管理センターへ提出してください。

特に、社会人学生の方で、職場で健康診断を受診される方は、受診後速やかに健康診断の写しを保健管理センターへご提出ください。

提出期限：6月30日（木）



平成28年度 大学院セミナーシリーズ（特別講義） カリキュラムのお知らせ

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
分子生命科学研究所 (細胞工学研究部門)	6月24日(金) 17:00~18:30	教育1号館 5階 1501教室	柳田 充弘 先生 (沖縄科学技術大学院大学・教授)	ヒト血液メタボライトの機能的多様性と定量性の探求：血液供与者の老化情報を得るのは可能か？
看護学科	7月5日(火) 13:00~14:30	看護学科A棟 2階講義室3	筒井 真優美 先生 (日本赤十字看護大学国際交流センター・センター長)	実践への看護理論の活用
病理学(2)	7月7日(木) 18:00~19:30	教育1号館 5階1501教室	佐治 重衡 先生 (公立大学法人福島県立医科大学腫瘍内科学講座)	乳癌のエストロゲンを中心とした分子病態
内科学 (心臓・血管内科部門)	7月12日(火) 17:00~18:30	教育1号館 5階1501教室	Peter Libby 先生 (Senior physician, Brigham and Women's Hospital Mallinckrodt Professor of Medicine, Harvard Medical School)	動脈硬化研究の最前線
外科学 (小児外科部門)	7月14日(木) 18:00~19:30	教育1号館 5階1501教室	牛木 辰男 先生 (新潟大学大学院医歯学総合研究科顕微解剖学分野・教授 兼 医学部長)	小腸微細構造と機能の最近の知見
皮膚科学	9月1日(木) 14:00以降	教育1号館 5階1501教室	川上 民裕 先生 (聖マリアンナ医科大学皮膚科・准教授/遺伝診療部・副部長)	血管炎のメカニズム解明を目指した皮膚科からの提案
内科学 (腎臓内科部門)	9月8日(木) 17:00~18:30	教育1号館 5階1501教室	西山 成 先生 (香川大学医学部薬理学・教授)	レニン-アンジオテンシン系に着目したトランスレーショナル・リサーチ
バイオ統計センター	9月15日(木) 15:00~16:30	教育1号館 5階1501教室	伊藤 ゆり 先生 (大阪府立成人病センター疫学予防課・主任研究員)	がん登録資料を活用したがん対策に関する研究

医化学	9月15日(木) 17:00~18:30	基礎1号館 2階会議室	河野 隆志 先生 (国立がん研究センター研究 所・分野長)	個々人医療を目指した 肺がんの高精度ゲノム 解析
-----	-------------------------	----------------	-------------------------------------	--------------------------------

※9月までの予定を掲載しています。10月以降の予定についてはホームページをご覧ください。
開講日時・場所等に変更がある場合には、大学院医学研究科ホームページでお知らせします。
また、当該科目履修者は5回以上のセミナー出席およびレポートの提出をお願いいたします。
レポートについては、各セミナー終了後1週間以内に、医学部事務部教務課までご提出ください。

第1回 医学研究科教育ワークショップが開催されます

今年度、初めて医学研究科教育ワークショップが開催されます。大学院の現状を見つめ直し、より活性化した学究の場としていくための方策を大学院の先生方と語り合いませんか。ここでの提言の一部は、12月に開催予定の第2回学生研究発表会へと活かされていくこととなります。ぜひご参加ください。6月末日まで参加者を募集しています。

日時：7月29日(金) 10:30-17:30 (終了後懇親会あり)

場所：久留米大学医学部教育1号館

参加料：無料

テーマ：1「学生同士のつながりを深めるための方策について」

2「医学研究科の志願者増に向けての方策について」

3「専攻コース・分野の新設に向けての検討について」

基調講演：「混ぜる教育：世界の多様な大学院教育経験から学んだこと」

(久留米大学学事担当久原正治理事)

第2回 研究発表会の日程が決定しました

昨年度、博士課程を対象に初めて開催された研究発表会が今年度も12月12日(月)・13日(火)に開催されます。エントリー受付期間は9月16日(金)～9月30日(金)です。ご自身の研究の進捗状況を把握し、客観的なフィードバックを得ることができる好機ととらえ、ふるってご参加ください。大学院生の研究発表に加え、英語力を磨くワークショップや懇親会の開催も検討中です。詳細が決まり次第、順次周知してまいりますので乞うご期待ください。

編集後記

早いもので6月も下旬を迎えました。毎日暑い日が続いていますが、学生生活はいかがお過ごしでしょうか。

本年度は、17コマの大学院特別講義を予定しており、既に講義が行われたものもありますが、履修登録されていない方も自由聴講が可能です。また、ワークショップや研究発表会の開催も決まりましたので、ぜひご参加ください。(西)